

「JR東労組を良くする会」なる者たちの 情報公開請求訴訟による 組織破壊を絶対に許さない！

10月10日、「JR東労組を良くする会」なる集団が、JR東労組を相手に情報公開請求訴訟を東京地裁に行い、記者会見を行った模様である。請求目録は、週刊現代の中で横領のデッチ上げを画策する悪辣記事の中身を補完するような会計に関することばかりである。

しかし、すべてのことに一切の不正もなく健全明瞭な運営をしていることは、福祉事業協会の副理事長であった嶋田やさつき企画の取締役であった阿部が一番よく知っているはずである。

権力者は戦争体制をつくるために、平和と憲法9条を守るJR総連やJR東労組を破壊しようと週刊現代によるデッチ上げをプロモートしている。そして労働者としての誇りをかなぐり捨て、権力者へ身を捧げることに生き様を求めたのが嶋田一派であり、破廉恥にもデッチ上げの上塗りをしたということである。

その嶋田一派内の誰かが「マングローブ」なる資料を配布したらしいが、その者こそが革マルではないのか？嶋田も週刊現代の11週目で「革マルといわれた」と言っているのだし。そのような者の言うことなど何で信用できようか！である。

私たちは、このような権力に身売りした輩による悪辣極まりない組織破壊を絶対に許さない！